

マラリア・ノーモア・ジャパン ゼロマラリア 2030 アップデート 第2号
2018年2月発行

<目次>

1. 第5回日経アジア感染症会議
2. 2017年世界マラリア報告書
3. マラリア政策諮問委員会 (MPAC)
4. WHOによる事前認証 (PQ)

1. 第5回日経アジア感染症会議

詳細は[こちら](#)

日経アジア感染症会議は、「グローバル経済の発展にともない感染症リスクへの対応は一国にとどまらず国際社会全体にとって看過できない喫緊の課題となっている」という認識のもとに、国内外より感染症対策に関連する行政機関・団体・学会等、産官学全てのステークホルダーを一堂に集めて2014年より毎年日本経済新聞社により開催されています。

第5回日経アジア感染症会議は2018年2月2日～3日に沖縄コンベンションセンターで開催されました。WHO グローバル・マラリア・プログラム・ディレクターの Dr. Pedro Alonso による「十字路口にたたされたマラリア対策」と題された基調講演では、「2017年世界マラリア報告書」を基に現状や進捗状況、課題についての説明がありました。「マラリアコンソーシアムの成果と課題」のセッションではアジア、アフリカ各タスクフォースの進捗報告などがあり、分科会では診断技術及びベクターコントロール（媒虫蚊制御）の2つの分野で日本企業の新技術・新製品の紹介とそれらの貢献の可能性についての議論がなされました。

2. 2017年世界マラリア報告書（2017年11月29日発行）

マラリア感染が続いている91か国・地域のデータに基づく今回の報告書では、世界のマラリア対策がかつてない大成功を収めてきた後に、現在その進捗が行き詰っていることを提示しています。2016年のマラリアのケースは前年に比べ約500万件多い推定2億1600万件でした。マラリアにより亡くなった人の数は前年とほぼ同じ44万5000人でした。2015年から2016年にかけて、WHO 東南アジア地域、西太平洋地域、アフリカ地域で死亡率は停滞し、東地中海地域と米州地域では増加しました。一方、世界的にはマラリア排除に向かう国が増えています。マラリアのケースが1万件未満の国の数は2010年の37か国から2016年には44か国と増えています。キルギスとスリランカは2016年にWHOのマラリアフリーの認証を受けました。

報告書の「主なポイント」は[こちら](#)

3. マラリア政策諮問委員会 (MPAC)

マラリア政策諮問委員会 (MPAC) は、マラリア対策・排除の政策提言策定に関して WHO に対して独立した戦略的助言を行うために 2011 年に設置されました。世界の一流のマラリア専門家を集めて年 2 回ジュネーブで会合を開催しています。特定のテーマに焦点をあてる技術専門家グループ (TEG) とエビデンス・レビュー・グループ (ERG) の 2 つのグループが MPAC をサポートしています。

2017 年 10 月に開催された MPAC 会合では、低密度 (Low Density) の感染、Piperonyl Butoxide (PBO) プラス ピレスロイド蚊帳の利用、大メコン圏における排除、医薬品の効能及び反応、Pfhrp2 遺伝子検出の対応計画、RTS, S パイロットの実施、マラリアワクチン諮問委員会 (MALVAC)、ベクターコントロール諮問委員会 (VCAG)、ベクターコントロールのツールの比較効果、国境地帯のマラリア、保健の研究開発の Global Observatory、マラリアの中核的介入へのユニバーサルアクセス、迅速アクセス拡大プログラムの結果、マラリア脅威地図、アフリカ地域外における妊婦のマラリア、マラリア排除監視委員会及びマラリア排除認証、マラリアによる推定死亡率、長期残効型蚊帳によるユニバーサルカバレッジの達成、の各テーマが取り上げられ、会合の結論として各テーマについての MPAC からグローバル・マラリア・プログラム (GMP) への提言がとりまとめられました。

低密度 (Low Density) の感染に関しては、用語について「無症候性 (asymptomatic) 感染」や「超微視的・超顕微鏡的 (submicroscopic) 感染」ではなく「低密度 (Low Density) の感染」を使うこと、そして、低密度 (原虫密度 100/ μ l 未満) の感染を高感度の技術を使って検出することがマラリア伝搬に大きな効果をもたらすという十分なエビデンス (証拠) は現在無く、そのようなエビデンスが集められるまではそれらのツールが定常 (ルーティーン) のマラリア対策・排除プログラムに使用されることは奨励しない、などが提言されました。

MPAC の詳細 (英語) は[こちら](#)

2017 年 10 月の MPAC 会合報告書 (英語) は[こちら](#)

4. WHO による事前認証 (PQ)

WHO の事前承認は、保健のリソースを最も有効的に活用して健康状態を改善するために、診断、医薬品、そして負荷の高い疾病のワクチンや予防接種関連機材や装置が質、安全性、有効性に関して世界水準を確実に満たすようにすることを目指しています。PQ のプロセス

では、書類のレビューや一貫性テスト又は性能評価、そして製造現場への訪問を含んだ透明で科学的に妥当なアセスメントが行われます。この情報は他の調達基準と合わせて、国連や他の調達機関が診断、医薬品、ワクチンの調達を行う際の意思決定に用いられます。

関連リンク

基礎医薬品と保健物資：事前承認（英語）

<http://www.who.int/medicines/regulation/prequalification/en/>」

保健トピックス：事前承認

<http://www.who.int/topics/prequalification/en/>

★=====★

発信元： 認定 NPO 法人 マラリア・ノーモア・ジャパン (MNMJ)

Copyright(C) Malaria No More Japan

〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-7-4 秩父屋ビル 8F

Tel: 03-3230-2553 Fax: 03-5275-2020

Web URL: <http://www.mnmj.asia>

Facebook: Malaria No More Japan

★=====★

過去のメルマガは [こちら](#)